

4月になりました。入学の季節ですね。入学式といえばランドセル！昔は赤と黒が定番だったランドセルも、最近では様々なデザインやカラーがならび、まるで春の鮮やかなお花のようですね。ランドセルは日本特有の通学カバンですが、最近ではファッションアイテムとして海外でも人気があるそうですよ！そんなランドセルは、もともとは幕末の日本において、将兵の携行品や荷物を入れる布製のカバンとしてオランダからもたらされたものでした。オランダではリュックやバックパックのことを、「ransel（ランセル）」と言い、その名称がなまって、いつしかランドセルと呼ばれるようになったと言われています。布製から革製になったのは、明治20年、総理大臣だった伊藤博文（いとうひろふみ）が、皇太子殿下の入学祝いに特注品の革のランドセルを贈ったのが始まりとされています。それが昭和30年代に小学生の通学カバンとして定着したそうです。

さて、小学生は永久歯への生え変わりなど、お口の中の状態が急激に変化する時期です。定期的に歯科検診を受け、健康な歯を育てましょう！

ながさき歯科医院からのお知らせ



歯科検診を受けよう！



ながさき歯科医院

電話 042-729-4182

訪問専用ダイヤル 0120-75-4182

診療科目 一般歯科、小児歯科、口腔外科、歯列矯正、審美歯科、インプラント、
予防検診、訪問診療

診察時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:30 ~13:00	9:30 ~13:00	9:30 ~13:00	休診	9:30 ~13:00	9:30 ~13:00
午後	14:30 ~19:00	14:30 ~19:00	14:30 ~19:00	休診	14:30 ~19:00	14:30 ~17:00
休診日：日曜・祝日・木曜日						

歯周病で早産の危険！？

★歯周病で早産の危険が高まる

妊娠中は、おなかの赤ちゃんへの麻酔やレントゲンの影響が心配で、歯医者に行かずに我慢してしまう方もいるかもしれません。しかし、最近の研究で、妊婦の歯周病は早産（妊娠 22～36 週の出産）を促し、低体重の赤ちゃんが生まれる恐れがあることが分かってきました。歯周病の人とそうでない人を比べた早産リスクは、アメリカではなんと 7.5 倍、日本でも 5 倍に高まると言われています。これは、早産の原因といわれるタバコやアルコール、高齢出産よりもはるかに高い数字です。



★歯周病とは？

歯周病とは、歯ぐきや歯を支えている骨などに炎症が起きる病気の総称です。歯と歯ぐきの間に溜まった歯垢（プラーク）や歯石の中にいる歯周病菌が歯ぐきにダメージを与え、少しずつ歯を支える組織を破壊していき、最終的に歯を支える骨を溶かし、歯が抜けてしまいます。歯周病はサイレントディーズ（静かなる病気）と呼ばれるほど症状に気づきにくく、歯を失う大きな原因となっています。歯周病患者は、20 代女性では重症な方はあまりいませんが、30 歳以上になると急激に増え始めます。



★なぜ歯周病で早産するの？

研究により、歯周病と早産のメカニズムが少しずつ解明されています。それは、出産のメカニズムと一致しています。

陣痛は、子宮収縮作用のあるプロスタグランジンという物質の分泌が高まって起きます。このプロスタグランジンの分泌を促すのが、サイトカイン。これは炎症によって増える生理活性物質です。歯周病は歯周病菌によって炎症を起こしている状態です。歯の周りの炎症によりサイトカインが増加し、プロスタグランジンが分泌され、子宮が収縮し早産となるのです。実際、歯周病の程度が重くなるにつれ、血中のサイトカインが増え、サイトカイン数値の高い人ほど出産時期が早くなっていることも解っています。

★妊娠中でも怖がらずに歯科医院へ

妊娠をすると歯がボロボロになると良く言いますが、実際そんなことはありません。つわりで気持ち悪く歯が磨けなくなってしまったりして、むし歯や歯周病になる方が多いのです。赤ちゃんが生まれてからは、ますますお母さんの時間が無くなり歯医者に来にくくなってしまいます。歯茎が腫れたり、違和感を感じたりしたら、ためらわずすぐに受診してください。また、妊娠中でもPMTTCで歯をクリーニングし、健康な歯を保つよう心がけましょう！



ながさき歯科医院

